



<http://www.ma.ccnw.ne.jp/kasugai/>

発行元：林克巳後援会事務所 春日井市鳥居松町6丁目27番地3 TEL0568-81-1851

暮らしやすさを実感できる未来へ

昨年1月末にWHOが新型コロナウイルス感染症拡大の国際的な緊急事態を宣言して以来、日本でも感染の広がりを抑え込むことが出来ず、今日に至りました。まずは、新型コロナウイルス感染症でお亡くなりになられた皆様、心から哀悼の意を表しますとともに、今なお療養中の皆様におかれましては、一刻も早い回復をお祈り申し上げます。また感染が拡大する中で、献身的に医療や福祉に従事していただいている関係者の皆様、そして私たちの社会生活を支えて頂いているエッセンシャルワーカーの皆様に感謝申し上げます。

春日井市の令和3年度予算編成につきましては、新型コロナウイルス感染症への対策を最優先の課題としつつ、本市の将来を見据えて着実にそして積極的に施策を推進していく内容となりました。しかし景気の動向が不透明なため、今後も持続可能な財政運営が継続できるよう注視していく必要があると思います。

現在、新型コロナウイルスのワクチン接種が始まる等、明るい兆しもあります。この先、感染拡大が早期に終息し、これまでの平和な日常が回復することを期待するとともに皆様のご健康を祈念し冒頭のご挨拶とさせていただきます。



車座懇談会の開催について

これまで毎年、新年度が始まった5月～6月頃の間、車座懇談会（議会報告会）を各地域で開催してまいりましたが新型コロナウイルス感染症の影響を考慮して従来の開催を延期させていただくことに致しました。今後の状況を注視しながら各地域の皆様と相談の上、開催時期を決めさせて頂きたいと思っておりますのでよろしくお願い致します。



令和3年度に春日井市が実施する主な取り組みについて

朝宮公園の整備

本年7月にオープンする陸上競技場に続いてLED照明を備えたテニスコート8面(人工芝)と少年サッカーコートとしても利用できる多目的広場(人工芝)等を整備します。あわせて芝生広場の整備を行い大型複合遊具の設置をします。

(令和4年3月頃オープン予定)



大型複合遊具の完成予想図

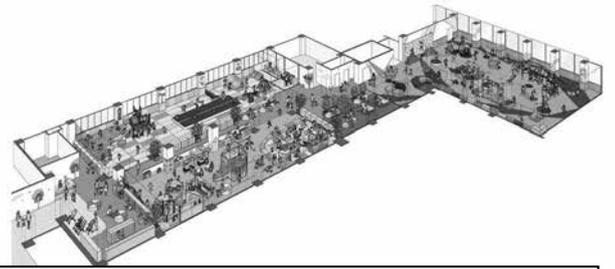
金属類指定袋の導入

金属類の内、スプレー缶、ガスボンベ、ライター、リチウムイオン電池充電機など発火性危険物について分別排出するための指定袋を今年の10月から導入します。袋は薄い赤色、イラストで分別収集する危険物を記載しわかりやすくします。

グリーンパレスに子どもの遊び場整備

猛暑や雨など気候の変化に影響なく安心安全に子ども達が遊ぶ場所を確保するためグリーンパレス春日井の大規模改修に合わせて2階フロアに大型室内遊戯施設を整備します。

(令和4年2月頃オープン予定)



2階フロア大型室内遊戯施設の完成予想図

交通児童遊園の全面リニューアル

建設から50年が経過したことから児童館の建替えと駐車場のレイアウト等を見直し、これまで以上に魅力的な交通児童遊園に全面的に再整備を行います。(令和5年3月頃オープン予定)

小学校の少人数学級の推進

令和7年までに小学校の全学年で1クラスあたり35人とする法案が国で可決されました。春日井市は昨年度まで小学1・2年生は35人学級を実施しており今年度は小学3年生まで35人学級を実施します。今後は順次令和6～7年までに全学年で35人学級が実施できるように計画を進める予定です。



教科担任制実施校を拡大

小学校高学年で教科の専門性を高め、よりわかりやすい授業を展開するため令和2年度はモデル校として勝川、高座、大手の各小学校で教科担任制を実施しました。今年度は市内18の小学校で教科担任制を実施します。なお教科については各校で選択することになります。

登校支援室の設置拡充

学校に行きづらくなった生徒達が安心して過ごせる場所や学びの場として支援するため登校支援室を令和2年度は東部、石尾、藤山台の各中学校で実施しました。その効果が見受けられたことから今年度は知多、松原、南城中学校を追加し計6校で実施します。

消防署の移転整備

現在の消防署(梅ヶ坪町)は昭和49年に築造されて以来、本市の消防救急体制の拠点施設として利用されてきましたが、老朽化が進み機能的にも今後の災害への対応が難しくなることが想定されることから現在の消防署を北城町に移転建替えし広域的な受援体制にも対応できる施設として整備します。

同時に篠木町の消防団第3分団の詰所も同施設に移転整備します。



空き家対策

空き家の流通と利活用を促進するため、そして市外からの転入促進を支援するために下記の補助制度を拡充します。

空き家購入に50万円補助 子育て世帯(中学生以下)の場合には更に50万円補助 市外からの移住の場合には更に50万円の補助。また購入した空き家をリフォームする場合は20万円の補助を行います。

デジタル化の推進

新型コロナウイルスの感染拡大により人との接触が制限される環境の中、自宅からのテレワークやキャッシュレス決済が広がり「新しい生活様式」への対応が求められる時代となりました。春日井市においても押印廃止の検討が進むなど、庁舎内で急速にデジタル化が進み始めました。今後、オンライン申請を拡充するなど、来庁することなく手続きなどのサービスの提供を受けられる仕組みの構築を進めていく計画です。



高蔵寺駅周辺の再整備

高蔵寺リ・ニュータウン計画を推進するためJR高蔵寺周辺の再整備が始まります。今年度は駅前の賑わいを生み出す魅力的な空間の創出に向けて南口駅前広場の整備と地下道改修工事に着手します。



自転車用ヘルメット購入費補助

自転車運転時の安全運転の意識向上と事故発生時の負傷の程度軽減を図る目的で高齢者と児童を対象に自転車用ヘルメット購入に係る費用の一部を補助します。



紙面の都合上、春日井市が令和3年度に実施する主な事業を抜粋して掲載させて頂きました。この他にも、新型コロナウイルス感染症対策や市内中小事業者や子育て世代への支援拡充など将来の礎となる事業が計画されています。

春日井市独自の新型コロナウイルス感染症に関する主な取り組み

新生児特別給付金

出産後の子育て世帯の負担を軽減するため新生児に給付金 30,000 円を支給する取り組みを昨年度、始めましたが今年度も引き続き特別給付金 30,000 円の支給を継続します。



中小事業者の雇用維持

雇用の確保と事業の継続を支えるため国の雇用調整助成金の特別措置に応じて交付された市内中小事業者に対して雇用調整助成 10%相当額を春日井市独自で支援しています。

中小事業者の運営支援

コロナ禍の影響を受け事業縮小や見直しを余儀なくされ新規事業への展開や業態転換する事業所や感染症予防対策を整備する事業所に対して商工会議所を通じて支援しました。昨年4月の休業要請等に協力した事業者には協力金 500,000 円を支援するにあたり愛知県と春日井市がそれぞれ 1/2 を負担し支援しました。また協力金の対象から外れた小売業、飲食店等の中小事業者等に対して春日井市独自の支援金 100,000 円を支援しました。

地域応援券「つかエール」の発行支援

コロナ禍で売り上げが大きく落ち込んだ市内の中小事業者を応援するため商工会議所によるプレミアム率 25%~30%の地域応援券「つかエール」の発行を支援しました。

小中学校1人1台パソコンの整備

令和5年度までに1人1台パソコンの整備を順次進める予定でしたが計画を前倒して令和2年度中にすべての市内小中学校への1人1台パソコンの配備を完了しリモート授業に対応できる体制を整えました。



水道料金基本料金免除

経済的に影響を受けている市民や企業など水道利用者の負担軽減を図るため令和2年6月から6か月分の水道料金の基本料金を免除しました。

避難所での感染症対策の拡充

3密を避けるための入所制限が発生しないように開設した避難所の混雑状況をホームページで案内するとともにアルコール消毒液やマスク等の資器材の備蓄を充実していきます。

知らないうちに、拡めちゃうから。



新型コロナウイルス感染拡大以降、国の感染対策以外の春日井市独自の主な対策を抜粋して、まとめさせて頂きました。今後はワクチン接種が滞りなく円滑に全市民に行き届くよう注視してまいります。